

第25回「日本絵本賞」ポップ交流サイト 実践モニター校

実践校報告書

令和3年1月20日

園名・学校名

学校法人奈良育英学園

(奈良育英高等学校・奈良育英中学校・奈良育英小学校・奈良育英幼稚園)

所在地

〒630-8558 奈良県奈良市法連町 1000 番地

電話番号

0742-26-2845

F A X 番号

0742-27-2433

園長・校長名

沼田 守弘 (中学校長・高等学校長)

東 誠司 (小学校長・幼稚園長)

児童生徒数

944 名 (幼・小・中・高)

実施対象人数

85 名

実施者名・職名

村上 祐子・教職員 (学校司書)

東 麻衣子・教職員 (幼)

梅田 仁美・教職員 (幼)

渡邊 紀志江・教職員 (小)

佐川 瑞穂・教職員 (中・高)

実践方法

今年度の読書教育活動の要に据えようと考え、企画書をあげ、学園を縦断するプロジェクトに発展させました。自身の所属である中高のみならず、学園内全校種での実施、また、姉妹校や卒業生等への広報を含めたイベントとしました。蔵書数が足りないので、近隣の公共図書館に相互貸借を要請し補いました。

★企画書★

<https://www.ikuei.ed.jp/wp-content/uploads/2020/11/3e55c4690fd5c90b584c95fabd6ab9a6.pdf>

★学園ホームページでの呼びかけ★

<https://www.ikuei.ed.jp/news/info/%e3%80%8c%e6%97%a5%e6%9c%ac%e7%b5%b5%e6%9c%ac%e8%b3%9e%e3%80%8d%e7%b5%b5%e6%9c%ac%e3%83%9d%e3%83%83%e3%83%97%e3%81%ae%e5%8b%9f%e9%9b%86%e3%81%ab%e3%81%a4%e3%81%84%e3%81%a6/>

★見本も独自で作成★

<https://www.ikuei.ed.jp/wp-content/uploads/2020/11/972a24523259978ba13debfc6ff8d9ab.pdf>

時期やシラバスの関係で、中高・姉妹校（中高）では限られた範囲での実施となりましたが、小学校等においては全学年で取り組むことができました。絵本を楽しむことはもちろん、そこから生み出された POP も、皆それぞれの成長段階に応じた素晴らしい出来栄でした。作品を見たいという声もあるので、今後、実物を展示する POP 展の開催を追加企画しています。

この企画を実行するにあたって、私は生徒たちに「自分の気持ちを表現すること」を期待し、求めました。昨今の息詰まる社会への順応には、言語化というアウトプットが欠かせません。POP を作成することによる表現力の養いは、「いのちの教育」にも繋がっていった実感がありました。微力ながら、読書離れの打破にも一石を投じたと思います。

★中学校・高等学校★

美術部とコラボレーションし、所属部員はクオリティの高いPOPを作成。

図書委員有志も参加。

★小学校★

ホームルームや読書の時間を用い、全学年で実施。

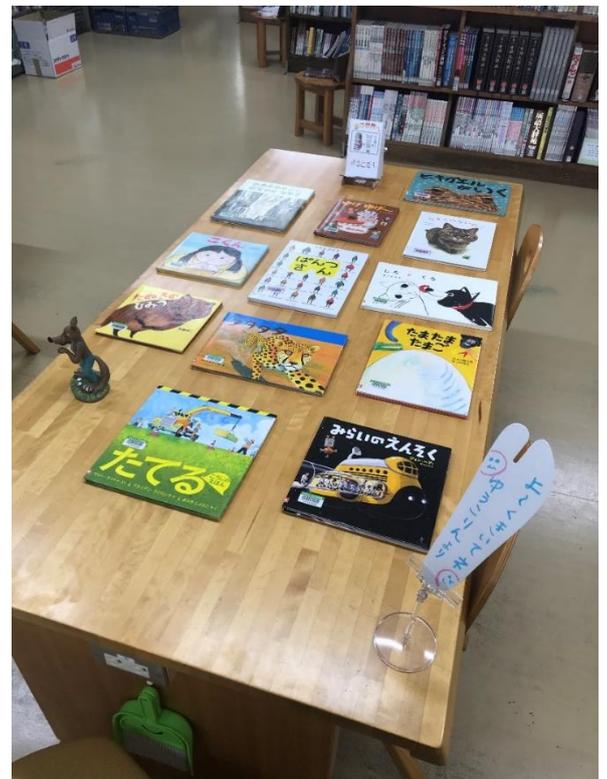
作成時の授業にも参加。

★幼稚園★

文字を書くことができる年長クラスにて実施。

作成時の授業に参加、読み聞かせ会を開催。

★おはなし会のようす★



★制作風景★



幼 年長クラス



小 1 年生



小 3 年生

テストサイトの仕様について

是非一般公開のご検討を、せめて関係者に向けて行って欲しいです。今後の展開として、私は現物の POP 展を企画予定ですが、実物とサイトの両方で親御さん等に見ていただけるなら、コロナ禍の現代に沿ったお披露目になるのではないのでしょうか。ニーズもありました。

投稿方法について

画像のファイル形式が決まっており、縛りに合わせるため二度手間、三度手間が発生しました。もう少し柔軟な設定であれば投稿しやすいです。

応募用紙についても、大人向けの書き方では、下手をすると中学生でもわからないので、校種に沿った説明をされると良いと思います。

学校現場で取り組む際

ペンネームを付けさせるのはとても良かったです。そもそもペンネームとは何かという指導に始まり、個人情報や、作家の紹介等に及ぶ話ができ、授業の幅が広がりました。

また、今後行う予定の POP 展でも、ペンネームだと匿名性が保たれ、例えばグランプリ制にする際、投票時も公平に行えます。

実施責任者名・職名

村上 祐子・学校司書

連絡先・電話番号

同上

MA I L

yuko-murakami@ikuei.ed.jp

以上